

テーマ2 授業5

ガイドランナーを体験しよう！



今日の目標・やること

- ① ガイドランナーを
体験してみよう！（歩く→走る）
- ② 体験を通してガイドランナー
として必要なことを知ろう。

ガイドランナーはどの人？





ガイドランナー



選手とガイドランナーを結ぶテザー（ロープ）



ガイドランナーは、選手の間となり、ゴールを目指す

「歩く」練習をしよう！



「ガイドに求められる走り」
について話し合おう。



ガイドランナー

- ・ 具体的に指示する。
- ・ あいまいな声かけはしない
 - 「10メートル先 45度右カーブ！」
 - 「左90度！」
 - × 「あっち！ むこうの方！」
- ・ タイミングに注意する。
 - 「ここまでで半分」
 - 「もうすぐ急な上り坂…はい、ここから！」
 - × 「あっ！右」「今、曲がって！」



ガイドランナー【声かけの例】

- ゴーゴー
- 5、4、3、2、1、ストップ
- あと〇歩くらい
- 90度右に向く 左ならなめ 45度
- この先に△△があるよ！
- その調子 それでいいよ！



クロックポジションで伝える



まちで視覚に障害のある人を見かけたら…





視覚に障害のある人に対する行動のポイント

じょうきょう
① 状況を確認する。

(相手が、どこで、何をしようとしているのかを確認する)

② 危険や困ったことがないか
判断する。

(様子を見て、自分が相手のさまた妨げにならないようにすることが第一。
困っているようであれば、声かけする)



視覚に障害のある人に対する行動のポイント

③声かけするときに
軽く^{かた}肩などに^ふ触れる。

(あなたに声をかけていますよ、と認識させる)

④相手が^{たの}頼みやすいような
声のかけ方をする。

(「大丈夫^{だいじょうぶ}ですか？」ではなく、「どちらまで行かれますか？」
「同じ方向なのでよかったらご一緒^{いっしょ}しましょうか」)



視覚に障害のある人に対する行動のポイント

③相手に自分の^{かた}肩やひじを
持ってもらおう。(引っ張らず、相手のペースで歩く)

④危険に留意して歩く。

(相手の少し前、車道側を、相手の歩くスペースを^{こうりょ}考慮して歩く。)

⑤周りの^{じょうきょう}状況を伝えながら歩く

(例：「段差があります」、「もうすぐ信号です」、「青になりましたよ」)



まとめ

- 感想を書いて、声かけについて考えよう
- ガイドをして、ガイドをされて
- 視覚に障害のある人への声かけ